

松本市市民活動

サポートセンター通信
NO.9発行元:松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13
松本市役所大手事務所2階
TEL/FAX:0263-88-2988
E-mail:support-center@support-center.jp
URL:http://www.support-center.jp

「まつもと市民環境大学」誕生!

<http://dept.md.shinshu-u.ac.jp/pmph/matsumoto-eco/>

「みんなで作る環境学習の場」をめざして「まつもと市民環境大学」が4月1日発足しました。

5月8日、サポートセンターで開催された設立記者会見には、25人の世話人の呼びかけに、4紙の記者が出席。世話人は、松本近郊で活動する研究者や17団体の代表者らの面々で、昨年8月にサポートセンターが主催した交流会をきっかけに、毎月2回の定例会で熱い議論を交わしてきた。昨年末には参加グループの活動を紹介するホームページ「環境カレンダー」も開設し、つながりが強化され、秋から定期的に市民対象の講座が開講する。

いままでネットワーク化の動きが無かったわけではないが、これだけ多くの団体が参加し、組織として形になったのは初めてであり、従来の行政が事務局のものとは異なる、民が主導の新たなネットワークの誕生といえる。

「まつもと市民環境大学」
設立記者会見の様子

その心は “Think globally Act locally”

緊急の問題である地球温暖化にそれぞれ取り組んできた市民や団体が、草の根の活動をグローバルな流れに注いでいきたいと、力を合わせて立ち上がった。

そして、いよいよこれから “Change Personally” を掲げ、学びの場を提供していくことになった。「信州の自然と風土を育む」「暮らし・ビジネスと環境」「持続可能なまちづくり・地域づくり」「社会システムとライフスタイル・価値の見直し」の4つのテーマで構成され、市民講座にフィールド実習を組み合わせ、具体的な行動に結びつくことを目標としている。

設立記念イベントのお知らせ

設立記念講演会 C.W.ニコル『私の考える自然との共生』
～つながる命のために～

(松本市市制施行100周年記念事業)

- ◆日時:5月20日13時半～16時(13時開場)
- ◆会場:Mウイング6F
- ◆参加費:無料
- ◆定員:300人
- ◆問合せ:TEL:0263-37-2622 FAX:0263-37-3499
E-mail:matsumoto-kankyo@mbr.nifty.com

ドキュメンタリー映画『不都合な真実』上映!!

- ◆期間:5月12日～5月25日
- ◆会場:大手4-9-21 エンギザ1(0263-32-0396)
設立記念講演会チラシ裏に割引券あり

★ 平成19年度サポートセンター自主事業のお知らせ ★

サポートセンターでは、昨年度に引き続き、下記自主事業の開催を予定しています。

内容につきましては、詳細が決まり次第、サポートセンター通信やHP (<http://www.support-center.jp>) を通してお知らせします。多くのみなさんのご参加をお待ちしています。

◆ 市民活動養成講座

日頃の活動を行っていくうえで活用できる実践的な知識や方法論等の習得を目指した講座の開催を予定しています。

(予定:ファシリテーター(「豆知識」にて解説)養成講座)

◆ 分野別団体交流会・サロン

団体(市民)相互の交流・親睦やネットワークづくりのための交流会に加え、その発展形として、各種「テーマ」を設定したワークショップ

又はサロンの開催を予定しています。(予定:障がい者福祉、子育て支援、子供の健全育成、文化・芸術、高齢者福祉、国際交流、まちづくり、IT、環境保全)

障がい者支援団体
交流会の様子

このコーナーでは当センターに団体登録のある、様々な活動団体をご紹介します！！

NPO 法人 松本クラフト推進協会

“ものづくり”を伝えるための活動を続ける「松本クラフト推進協会」。同協会主催の「クラフトフェアまつもと」は、全国から多くの来場者を呼び、今日では松本を代表するイベントの一つになっている。1985年、「日本でもクラフトフェアを開催したい」という想いから、65人の参加者でスタートした「クラフトフェア」は、その後、回を重ねるごとに参加を希望する工芸作家が増加。'93年以降は、審査員による選考を開始し、本年度の応募総数は1000人(46都道府県から)を超えた。イベントは大きく成長し、現在では若手工芸作家達にとって、将来の躍進のための登竜門のような存在になっているという。

フェアが大きな成長を遂げていく中で、協会は'02年より「クラフトピクニック」という子どもから参加できる体験型イベントも開始した。木工から金属加工、糸づくり等、次世代に“ものづくり”を伝えるための活動だ。「子ども達自身が、何を作りたいのか、と自分で悩むことが大切、そうやって「子ども達の感受性に刺激を与えたい」と代表の伊藤博敏さんは話す。「悩み続けて終わるのもいい。答えを出すのが全てではない」という言葉が印象に残る。

協会は今年、市制100周年記念事業市民提案イベントとして、「工芸の五月」という企画を立ち上げた。4月28日を皮切りに、市内の各所において、展示会やワークショップが行なわれている。キャッチコピーとなっている「百の手は、百の暮らしを創造する」という言葉が印象的だ。伊藤さんにとって、“手”とは何なのだろう？

「手」というものは、作る行為の象徴。日本人は“手を定規代わりにものを作ってきた。日本人は、『触感』で生きてきたと思うんです」そう言って、見せてくれた“手”から、数多くの作品が生まれていく姿が浮かんだ。

工芸作家達の“手”によって作り出された作品は、クラフトフェアによって全国のクラフトファンの“手”に渡り、愛用され、クラフトピクニックを通じ、子ども達の“手”によって未来へと伝えられていく。お話を伺った後、自分の手がとても愛おしく、新鮮なものに感じた。(川上智子)



子どものワークショップ

イベントのお知らせ

□ クラフトフェアまつもと

◆日 時：5月26日(11～17時)、27日(9～17時)

◆会 場：あがたの森公園

□ 工芸の五月 Matsumoto Crafts Month

◆日 時：4月28日～5月27日

◆会 場：松本市美術館、歴史の里博物館、市内ギャラリー

◆問合せ：NPO 法人 松本クラフト推進協会

松本市中央3-5-5 クラフトステーション

TEL：0263-34-6557 FAX：0263-34-6545

E-mail：cfm1985@forest.ocn.ne.jp

HP：http://www4.ocn.ne.jp/~cfm/

松本市ボランティアセンターよりご案内

□ サポートセンターにボランティア相談コーナー開設

松本市社会福祉協議会のボランティアコーディネーターが、今年度から4名に増員されました！火曜日と金曜日は交代で1名が駐在します。様々なボランティアのご紹介や、ボランティア活動保険・ボランティア行専用保険の申請も可能です。是非、お気軽にお立ち寄りください。

◆ 毎週火・金曜日(午前10時15分～午後7時)

□ 学童保育まつり ボランティア募集！

児童育成クラブ(学童保育)を利用する子どもや父母が交流と、活動紹介のために行なうイベントです。10テーマ前後の遊びブースには、昔遊びやアイデアいっぱいの遊びが用意され、幼児から小学生まで誰でも参加できます。(入場無料)

◆ 日 時：6月2日(土) 午前10:00から

◆ 場 所：松本市総合体育館

◆ 内 容：受付、駐車場の整理、各ブースでの子どもの相手など

◆ 問合せ：松本市社会福祉協議会 ボランティアセンター TEL：25-7311

今回は、「NPO 法人松本クラフト推進協会」、
「子どもの心身共に健康な成長を願う親の会」両団体にお話を伺いました。

子どもの心身ともに 健康な成長を願う親の会

子ども、そして大人の自尊感情を養う手助けとなる講演会、勉強会を主催する「子どもの心身ともに健康な成長を願う親の会」。会の設立のきっかけとなったのは、代表の野見山ナオミさんはじめ母親3人が、県内10代の性の実態調査を通じ、「遠い場所で起きている」と思っていた問題を、実は身近な子どもたちも抱えている」という事実を知ったことだった。それは大きな衝撃だった。それと同時に、「親が、子ども達が抱えている問題を知らなければ、子どもからの相談を受けることは出来ない。親が無関心でいてはいけない」という思いが野見山さん達を団体設立へと突き動かしていった。



野見山ナオミさん

そこから始まった活動では、家庭・教育の現場でナイーブな問題とされる性教育などを敢えて取り上げ、問いかけを行っている。“夜回り先生”こと水谷修氏を招いての講演（共催）や、子どもの成長を脳科学の分野から見るなど、会は様々な方向から親、子ども、そして全ての人々にメッセージを送り続けている。そうして、将来子ども達が成長し、家を後にする時、「子どもが、『何かあったらすぐに家に帰ってくることが出来る』という安心感を持って家を巣立つような子育ての手助けが出来れば」と話す。

活動は今年、3年目に入り、新たな課題も見えてきた。低年齢層にも浸透する携帯電話・インターネットの弊害である。その手軽さから、最近では子どもを巻き込んだ出会い系サイトなどの事件なども多い。しかし、「その手軽さだけが問題なのではなく、出会い系サイトにアクセスしてしまうような子達の、心のケアが必要」と野見山さん。「生まれてきてくれたというだけで幸せなこと、という“根”の部分を大切にすること、それが一番重要だと思います」と何度も繰り返した。その言葉には包み込まれるような優しさがある。子ども達、そして活動への想いの深さを感じられた。（川上智子）

イベントのお知らせ

□ 受けそこねた大人のための性教育講座

- ◆日時：5月19日13時～17時45分(受付開始12時半～)
- ◆講師：竹内未希代先生
- ◆会場：松本市西部公民館 大会議室
- ◆対象：大人のみなさん 先着50名
- ◆参加費：無料

□ 愛着の絆を結ぶために・・・Part2

- ◆日時：5月23日9時45分～12時(受付開始9時15分)
- ◆講師：ヘネシー・澄子先生
- ◆会場：なんなん広場(南部公民館)3階大ホール
- ◆参加費：200円
- ◆問合せ：子どもの心身共に健康な成長を願う親の会
E-mail: oyanokai-matsumoto@mbr.nifty.com
TEL/Fax: 0263-33-7257

豆知識⑦ ～基礎から学んで賢く活用～

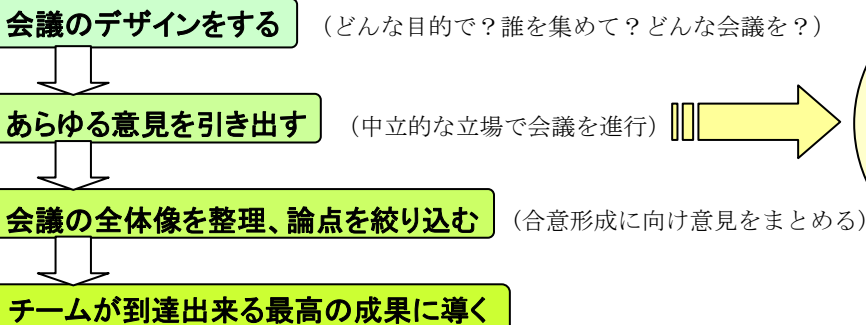


Q. “ファシリテーター”って何？

<参考文献> 「ファシリテーション入門」堀公俊
現代用語の基礎知識 2007

ファシリテーター（協働促進者、共創支援者）とは「中立な立場でチームのプロセスを管理し、チームワークを引き出し、チームの成果が最大になる様に支援する」役割を担う人のことを言い、特に会議の「まとめ役、議論を容易にする人。」のことを指します。リーダーとは違いあくまでも中立的な立場で、成果に至る過程（プロセス）のみの舵取りをします。

具体的には・・・



例えばこうやって・・・

- ★話し手の話を正確に受けとめる
- ★意見を引き出すための質問を投げかける
- ★話し手の発言をわかりやすく置き換える
- ★意見と意見との橋渡しをする
- ★議論が対立した時は、それぞれの主張がかみ合うように働きかける

このように、問題解決を促進させ、合意の質を高めていくファシリテーションの役割を担います。ファシリテーションの技術は、メンバーの自立的な力で目標達成に導くものであり、NPOやボランティア活動のような自発的な意思で集まった組織でこそ真価を発揮すると言われていました。

Information

講座・イベント・募集（※お問合せ・お申し込みは、各主催団体へ直接お尋ねください。）

市民登山「100周年に100名山に登ろう」

- 登山地：美ヶ原・常念岳・奥穂高岳・槍ヶ岳・乗鞍岳・焼岳
- 問合せ：NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会・やまたみ
TEL：34-1543

山小屋の長老が語る北アルプス昔物語と未来への提言

- 日 時：6月10日
- 場 所：長野県松本文化会館 中ホール
- 問合せ：NPO 法人北アルプスブロードバンドネットワーク
TEL：28-4030

忍者修行 ～松本城の巻～

- (募集は終了しています)
- 日 時：5月20日
- 会 場：松本城
- 問合せ：まつもと子ども劇場
TEL：33-3423

ふれあいマーケット

- 日 時：毎月第4水曜日 10時～15時
- 会 場：松本市役所東庁舎1Fほか
- 問合せ：ふれあいマーケット
TEL：34-0611

登山講習とエベレスト撮影紀行・報告写真展

- 場 所：北アルプス、ネパール及びMウイング
- 問合せ：NPO 法人松本ヒマラヤ友好会
TEL：47-6197

こちらは、
当センター登録
団体主催、4.5.6月
～グリーンステージ～
の、市制施行100周
年記念事業です。



えじそんくらぶのペアレントトレーニング & インストラクター養成講座

- 日 時：第1回6月16日(全4回)9時半～15時半
- 場 所：あがたの森文化会館
- 問合せ：NPO 法人児童生徒教育支援協会
親の会トゥインクル
TEL：090-1866-7855(江原)

ボランティア募集説明会

- 日 時：6月9日(土)14時～16時
- 場 所：南部公民館
- 問合せ：NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・長野
松本プログラム
TEL：090-4412-0330(川上)

お母さんの学習会

- 「見逃さないで！子どもの心のSOS」
- 日 時：5月22日(火)10時～12時
- 場 所：ふくふくらいず 3F 城東公民館
- 問合せ：スコレ家庭教育推進協会
TEL：35-2440(太田)

食育講座「小麦の話」

- 日 時：6月9日(土)
- 場 所：島内公民館、近くの畑

ネギ栽培体験(ネギ植えから収穫調理) 随時参加者募集！

- 場 所：両島の畑
- 申 込：なんなん広場 26-1083
- 問合せ：子どもが輝く食育ネットワーク松本
TEL：58-9664(伊藤・夜のみ)

サポートセンターからのお知らせ

◆ あいさつ ◆

この度、4月の定期人事異動により協働推進担当として勤めることになりました伊藤一登と申します。よろしくお願いたします。今日の社会情勢は、高度情報化、高齢化、少子化に加え、様々な価値観の多様化により、かつて社会学者の巨匠マックス・ウェーバーの言葉の「神々の競合の時代」を顕著にあらわしております。このような時代に即応して、行政運営には市民の皆さんとの意見交換や一緒に行う活動がより大切な手法となります。市民の皆さんと共に考え行動する「協働」を共に学び、実践できるよう頑張っていきたいと思っております。

◆ 新スタッフ紹介 ◆

- 4月からサポートセンターに新しく加わったスタッフの紹介です。
- ◇ 主にHP管理と、窓口業務を担当することになりました。分からないことばかりですが、精一杯頑張ります。宜しくお願いたします。(K)
- ◇ 主に機関紙を担当させていただきます。まだわからないことだらけで、毎日右往左往していますが、一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。(かわ)

◆ 市民サポーター募集！！ ◆

サポートセンター事業のお手伝いをしていただけるボランティアの方を募集しています。ぜひ一度サポートセンターへお立ち寄りください。お待ちしております。

- ◇ イベントのお手伝い
- ◇ サポートセンター通信の編集作業
- ◇ ホームページ掲載記事の情報提供
などなど

◆ 編集後記 ◆

2007年5月1日、松本市は市制施行100周年を迎えました！これから来年3月末まで、数多くの100周年記念事業が開催されます。その中の市民提案イベントには、サポートセンターに登録いただいている団体主催のイベントも多く予定されています。「information」のコーナーにて、そのイベント情報をお知らせしていきます。ぜひお出かけください。